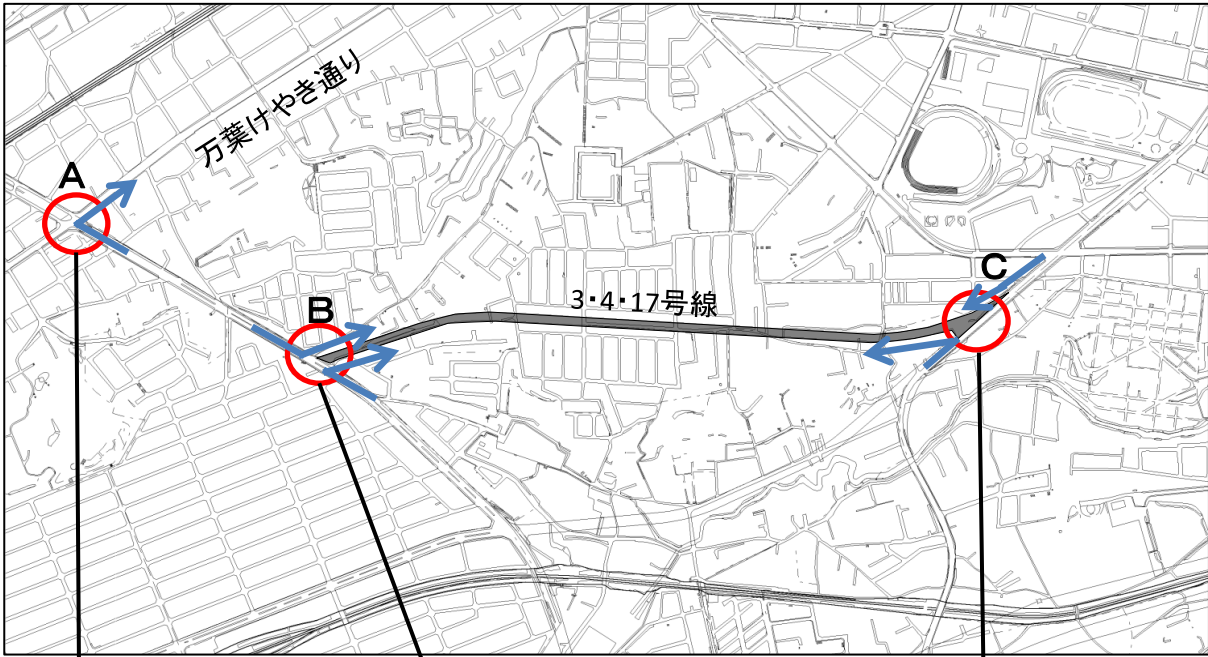


# 八王子都市計画道路 台町散田線(3・4・17号線)

## ▽都計道開通後の交通量の推移



A (右折車)	
整備前	1102台
整備後	946台
↓	
15%減少	

B (右左折車)	
整備前	—
整備後	1620台

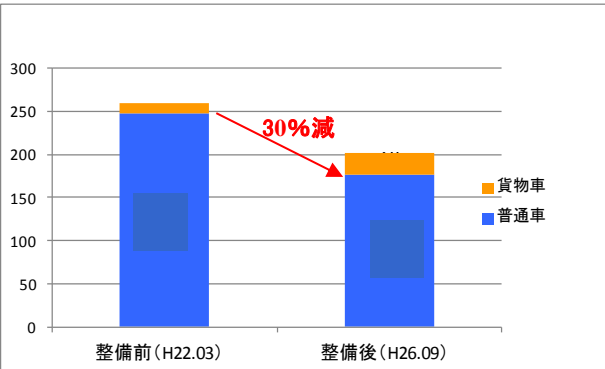
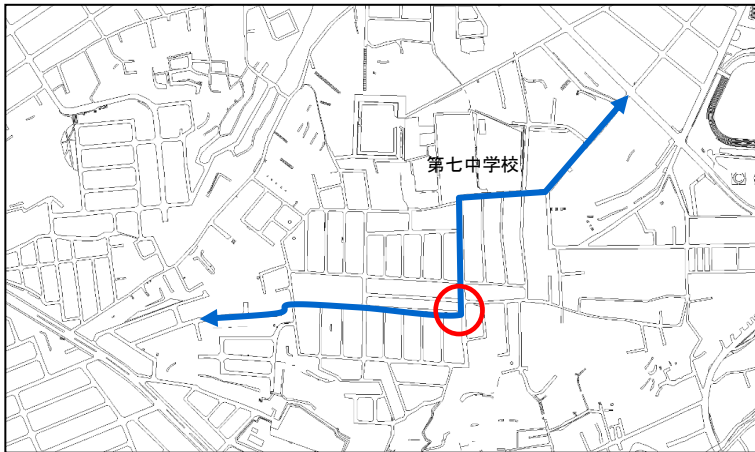
C (右左折車)	
整備前	—
整備後	1429台

※平成26年9月(平日) 7時~19時(12時間)

整備後

交通が分散され、渋滞の緩和に寄与している

## ▽抜け道として使用していた車両の減少



整備後

生活道路の交通量が  
30%減少

## ▽バス路線の開通によるJR八王子駅へのアクセス性向上



停留所：上り 2箇所、下り 3箇所

本数：上り 5便/日、下り 6便/日

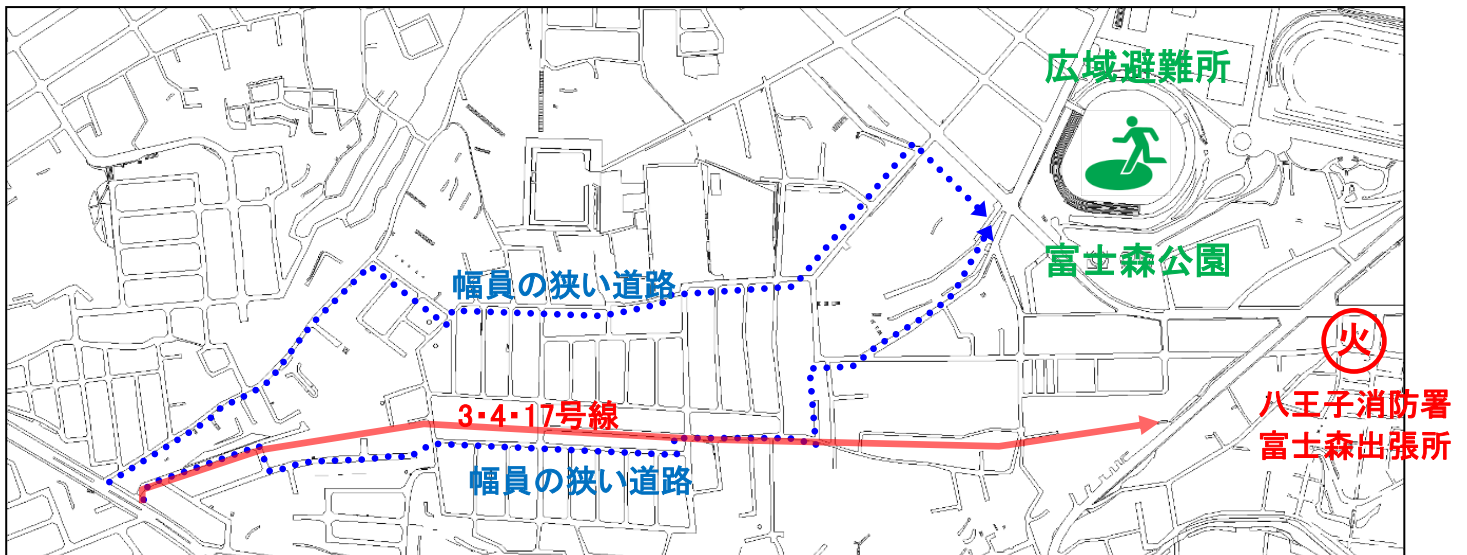
利用実態：55.5人/日

- ・上下線計5箇所の乗降者数の合計
- ・一般客と高齢者の割合は同程度
- ・他の団地内にある停留所に比べ、利用率は高い

整備後

公共交通機関の利便性向上により、  
高齢者も外出しやすい環境が創出された

## ▽災害時の防災能力（避難所への安全なルート、緊急車両の通行性）



- ・災害時に、広域避難所である富士森公園までの避難ルートとして、住宅地内の街路が利用されると多くの避難者が幅員の狭い道路に集中し、危険な状況が想定された。

整備後

安全な避難路が創出され、避難所への時間短縮に寄与している

- ・火災や救命活動等の緊急時、迅速に目的地や医療施設に到着する必要があるが、走行距離が長く、時間もかかっていた。

整備後

都計道を利用することで、走行距離や時間が短縮され、  
迅速な救助活動が可能になった。  
実際に多くの緊急車両が利用している。